

漢回の配賦

圖克爾克帖木兒汗
蘭と達迷爾
の征服

中央亞細亞
の二雄

の教會堂と相隣して建立するに至れりといふ。

而して現時支那全國中、殊に甘肅、新疆にて、其の人口百餘萬と註せられたる漢回
は、中央亞細亞諸汗國より成吉思汗に降服從軍し來りて、其儘土着せし者多しと云
ふ。

該民衆は、其後明朝（千四百年より）に及んで、大に勢焰を北部に恣にし、狀況頗る不穩
なるもの有りしに因り、遂に各省に配賦せられたり。

圖克爾克帖木兒汗、天資英明、且つ成吉思汗の裔族中、始めて回教を奉じたるを以
て著はる。彼は南北の兩路を併有し、其都を阿克蘇より喀什噶爾に移し、遂にサマ
ルカンドをも併せたるが、彼の歿後國內大に亂れ、サマルカンドは達迷爾蘭に、喀什
噶爾は喀瑪爾捏任に奪はれしも、喀瑪爾捏任は後又、達迷爾蘭に亡されたり。

中央亞細亞の歴史を飾る者二人、曰く成吉思汗、達迷爾蘭即ち是なり。而して此
の二人の新疆に於ける偉績に就ては、全然其趣を異にし、成吉思汗は流血の慘劇を
演せず、慰撫、地を併せ、且つ宗教の自由を與へ、職業、貿易、技術を奨勵して、専ら地方文
明の基を開きしが、達迷爾蘭は唯屠殺暴掠を事として、成吉思汗及び其の子孫が、百